

地方都市の再生(モデル都市の選定と重点支援)

- 内閣府(地方創生推進事務局)と連携して、人口減少、地域経済縮小等の課題をかかえる地方において、都市構造の再構築と、地域の稼ぐ力の向上に積極的に取り組もうとする自治体を地方再生のモデル都市(地方再生コンパクトシティ)として、32都市を選定。平成30年度からハード・ソフト両面から3年間重点的に支援する。

【モデル都市選定の狙い】

- ・地方再生のモデルとなる32都市を選定
 - 空き店舗対策、城下町の再生等にハード、ソフト両面から総合的な取組
 - 官民連携のもと、民の力を最大限引きだし、地域の「稼ぐ力」の再生する取組
- ・以下の支援メニューによる集中支援により、概ね3年以内に、目に見える形で都市の再生を達成

【支援メニュー】

- ・ハード:都市のコンパクト化、賑わい拠点形成、空き地再編 等
 社会資本整備総合交付金
 (都市再構築事業、都市公園・緑地等事業等)
- ・ソフト:地域ブランドの形成、プロモーション、起業支援 等
 地方創生推進交付金(内閣府)
 民間まちづくり活動促進・普及啓発事業
 UR都市機構による人・ノウハウの支援 等

【モデル都市(32都市)】

